

| | | | |
|-----------------------|---|------------------|--------------------|
| コ ン テ ン ツ | PMS講習会 受講生募集中 PMR資格試験・・・24名が合格 PMS資格試験・・・361名が合格 P2Mクラブ新春大会 実施 P2Mクラブ年間優秀会員賞 発表 PMC資格(案) ご案内 P2M早稲田大学オープン講座 実施 タイ・バンコクでP2M講習会 実施 | vol.12 2005.4 | PMCCニューズレター |
| |  特定非営利活動法人 プロジェクトマネジメント資格認定センター | | |

PMS・PMRに大きな期待



千葉工業大学
西尾 雅年 教授
PMR 資格認定部会長

P2Mに基づく日本発のPM資格も3年を経過しました。2月のPMS資格試験を経て、累計で1,700名近い資格取得者が誕生したことは、大変喜ばしいことです。国内の産業構造も激しく変化し、グローバル化の波は押し寄せ、課題や問題は益々複雑

多様化しています。また、少子高齢化の社会構造になっていく中で、実践力のある高度なPMが産業界のみならず自治体、国際的団体などからも強く求められている時期に、資格取得者がそれぞれの産業分野でご活躍されることを期待しております。

PMR (プロジェクトマネジャー・レジスタード)

PMRは、実践力が評価・認定されるということで、国際的にも大きな注目を受けております。今回は24名が合格されましたが、最年少の方が33歳、最高齢の方が68歳と幅広い年齢層の方が新しい資格を取得されました。女性の方も2名おり、PMR有資格者のこれからの国内外での活躍が大いに期待されております。

PMR資格試験は複合能力・実践力の審査がポイントとなります。厳正、公平に実践力を判定するために、事業分野や職種に影響を受けない課題が出題され、審査も複数審査員で実施いたしました。この資格試験制度は、実践力の総合判定方法、その期間、回数など世界のPM業界でも画期的なことで高い評価を受けています。

PMRは、高い視点、広い視野、経営が視野に入っているプログラムマネジャーとして太鼓判を押された方々です。プロジェクトの責任者としてご活躍されるとともに、プロジェクトに大きな価値を創出しながらチャレンジしていくことを期待いたします。また、PMSやPMS予備軍の育成に励まれることをお願いいたします。

PMS講習会 受講生募集中

平成17年度 第1回PMS講習会が、5月21日(土)～7月16日(土)の全8日間実施されます。今回は東京会場・大阪会場で開催されます。

講習会会場

- ・東京会場
 - クラス1 明治大学アカデミーコモン(千代田区)
 - クラス2 国際ファッションセンタービル(墨田区)
- ・大阪会場
 - クラス3 御堂筋本町ビル(中央区)

本講習会は、PMS資格取得の早道として、既に1000名以上の方が受講され、PM実務経験者による講師陣の講義は好評を得ています。また、厚生労働省教育訓練給付制度指定講座認定ですので、雇用保険加入期間等の条件を満足し、本講習を終了認定された方は申請によりハローワークから受講費用の一定額が給付されます。なお、クラス別スケジュールの詳細は、PMCC事務局までお問い合わせください。また募集ポスターを作成いたしましたので、会員企業におかれましては、社内に掲示し積極的な受講生応募のご推奨をお願いいたします。



PMR資格試験 24名が合格

日本で初めてのPMR資格試験の合格者が発表され、30名が受験され24名が合格されました。合格者の平均年齢は46.4歳で、情報システム・エンジニアリング・電気製造・建設・コンサルタント業界等 幅広い業界に亘りました。今後P2M人材の模範的人材として活躍が期待されるとともに、実践面のみならず研究・開発面でリーダーとしての活躍も期待されています。

Topics

PMS資格試験・・・361名が合格

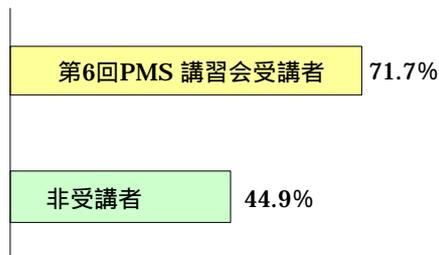
2月20日(日)、平成16年度 第2回PMS資格試験が実施されました。今回は、東京・大阪・札幌・名古屋・沖縄の全国5会場で、751名が受験されました。

3月23日(水)、合格発表があり361名が合格。PMS資格取得者は、累計で1,691名となりました。

今回の合格率は48.1%。合格者の平均年齢は39.6歳と若い方の合格者が増えてきているのが特長です。

また、第6回PMS講習会受講者の合格率は71.7%と非受講者より約27ポイント高くなっています。

【PMS講習会受講者・非受講者の合格率比較】



P2Mクラブ新春大会 実施

2月11日(金祝日)、P2Mクラブ新春大会が実施されました。当日は、東京会場の(株)NECユニバーシティ技術研修所講堂から、Web送信によるライブ中継を行い、札幌・名古屋・大阪・広島・福岡・沖縄地区でも同時開催されました。

当日は、第1部と第2部に分けて実施され、第1部は

- ・基調講演

「プロファイリングマネジメントの重要性」

小原重信教授(シドニー工科大学)

「P2Mプロファイリングの手法」

渡辺貞成氏(プロファイリング開発部会委員)

- ・P2M研究発表

「エンタープライズアーキテクチャーとP2M」

栗山博行氏(株)シーエーシー常務取締役

「建設業の新しい価値創造を求めて」

田中和夫氏 大成建設(株)CSセンター長

また、第2部では、全国各地の会場で事例発表や懇談交流を行い、大いに盛り上がりを見せました。

P2Mクラブ年間優秀会員賞 発表

平成16年度 P2Mクラブ年間優秀会員賞が発表され、P2Mクラブ新春大会の席

上表彰されました。これはP2Mクラブ会員相互の自己啓発を促進するため、年間の会員活動で顕著な実績を挙げられた会員を表彰する制度です。



P2M理論を業務に活かし実践し成果を挙げた「ベストプラクティス賞」は、白井久美子(日本ユニシス・ラーニング株)と梶原定(ゼッタテクノロジー株)。

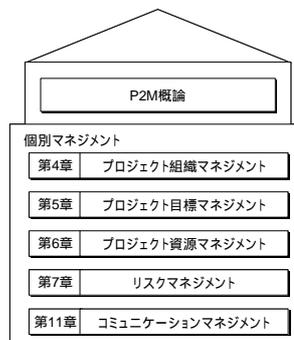
P2Mクラブジャーナルや各種出版にP2Mの事例や研究を発表し高い評価を得た「ベスト研究・論文賞」は、田中和夫(大成建設株)と濱久人(松下電器産業株)。

P2Mの普及拡大に尽力を尽くした「ベスト啓発賞」は、高橋秀信(日本電気システム建設株)と藤井誠一(株共栄経営センター)、酒井清則(株エクセルソフト)が受賞されました。(敬称略)

PMC資格(案) ご案内

本年度から、P2Mの新しい資格制度PMC(プロジェクトマネジメント・コーディネータ)の実施を予定しています。この資格は、プロジェクト遂行実務者を対象としたもので、PMCCが認定する教育機関での講習受講が義務付けられます。現在、テキストの開発、認定教育機関の認定基準等の準備を進めています。

詳細が決まりましたら、認定教育機関を広く一般公募いたしますので、会員企業におかれましては積極的にご応募頂きますようお願いいたします。



P2M早稲田大学オープン講座 実施

価値創造型人材育成を目的とした「プロジェクトを成功に導く最新のマネジメント講座」を3月5日、12日、19



日の3日間 早稲田大学アジア太平洋研究センターとPMCC共催で実施しました。当講座は、昨年に引き続き3回目で、「P2Mの意義」「P2Mの深耕研究」「P2M適用の事例研究」の9講座で構成されました。PM分野でリーダーとして活躍されている多彩な講師陣の講義に、社会人・学生の方々が熱心に耳を傾けました。

企業・団体向けP2M研修会 活発化

企業・団体向けP2M研修会が大きな広がりを見せています。1月には「CSK」で“PMS研修会”、2月には「NECユニバーシティ」で“第11回P2Mマスターコース”を開



催しました。3月には「日本電気Eラーニング事業部」で“P2M研修会”、「大林組・エンジニアリング本部」で“P2M説明会”を実

施。また関西でも「大日本スクリーン製造」で、P2Mを技術部門の革新にどう生かすかを視点を“P2M説明会”を実施いたしました。会員企業におかれましてP2Mを積極的に人材育成にご活用下さい。(敬称略)

会員企業紹介シリーズ 株式会社アグレックス様 P2Mはビジネスのキーマイテム

当社は、BPO＝ビジネスプロセスアウトソーシング、SS＝ソフトウェアソリューション、SI＝システムインテグレーションをビジネスの3本柱としています。

今回P2Mへの取り組みを開始したSDS事業部では、ソリューション導入サービスや受託開発サービス等のビジネスを展開しています。PMはその

能力により収益にも影響を与えるビジネスに欠かせない主要人材であり、事業部革新の重要課題のひとつとしてPM育成に取り組んでいます。PMの能力向上による失敗プロジェクトの撲滅がビジネスの付加価値を高めるとともに、顧客満足にもつながっていくと確信しています。

P2Mのトータル知識を活用できるPMの継続的な育成を目指し昨年PMCCに会員登録しました。昨年末のPMCCの講習会を経て今年2月の

PMS資格試験では3名が合格しました。今後の方向性として、SDS事業部ではIT技術者のスキル標準でもあるITSSを活用し、ビジネスに必要な人材イメージを確立し、スキルマップのPM領域にP2Mの知識ベースおよび資格を組み込むことも目論んでいます。事業部では継続的实践による浸透を図るとともに、他事業部にもP2Mを推薦していきたいと考えています。

タイ・バンコクでP2M講習会 実施

P2M国際標準化推進事業の一環として、東アジア(タイ)で、現地企業および日本進出企業の経営幹部を対象に、

「P2M講習会」を2月14日～18日の5日間実施しました。受講者は、オートアラリアンス(タイランド)社、セブンイレブン社、タイ明電舎等日系企業のタイ人中間管理職が中心で59名が受講されました。今回は、P2M実践事例の見学として、トヨタ・サムロン工場を見学し、受講生には大変好評でした。



第9回 関西委員会を実施

1月19日(水)、関西委員会を開催しました。関西委員会は、浅田教授(大阪大学)を委員長に、P2M関西地区普及啓蒙の為に施策提言を頂いており、今回で9回目となりました。関西地区P2Mクラブ会員も160名(1月現在)を越え、P2Mクラブ関西の活性化と企業研修の充実が重点取組みとなっています。

PMCC関西事務所 移転

PMCC関西事務所は、4月1日に移転しました。
新住所：大阪市淀川区西中島5-8-3 新大阪サンアールビル北館6F-1。メールアドレス・電話は変わりません。FAX番号が06-6885-6037に変更になりました。



PMCC広場

～ PMS資格試験合格者の一言～

私は、1968年に月島機械に入社し、以来国内の精製糖工場、海外の製糖工場建設にプロジェクトマネジャーとして従事し、現在に至っています。私がプロジェクトマネジャー業に就いたときは、P2Mが無く先輩諸氏の後ろ姿を見ながら（KKD）プロジェクト業務をこなしていました。P2Mがあることを知り、プロジェクトマネジメントの手法、考え方の整理という意味でP2Mを学習しました。

弊社は公共事業、民間事業の建設工事に関わっており、土木・建設・管工事等の国家資格を取得する事を奨励しています。PMSは国家資格ではありませんが、経済産業省で開発されたP2Mは準国家資格として非常に価値あると考えています。プロジェクトマネジャーを目指している人にとってP2Mは体系的に学習できるので自分のPM方式を振り返ってみる、或いはこれに沿ってマネジメントを実施してみるのに適していると思います。

またPMSの資格を取るためにはそれなりの学習、受験をしなければならないが、一時期、一定期間集中的に勉強することは社会に出てからこのような機会が無いので良い機会ではないかと感じます。自分の仕事の視点・手順・手法など再考する良いチャンスです。仕事が忙しいということで、勉強の時間がとれないと思うよりも、どうしたら時間を生み出せるかを考えること。土曜日、日曜日、早朝等と時間を作るように努力すること。このように苦勞して学習し、受験し、合格した時はこの苦しみが喜びになり、また仕事も体系だって進めることができます。日常の仕事をこなすので精一杯であったプロジェクトマネジャー若手諸君も、どうすれば時間を生み出し効率よくプロジェクトをこなせる様になれるかのヒントになることと思います。

今後は、名刺にPMSを刷り、営業でお客様に“この資格は何ですか？”と聞かせた上で、ビジネスまで網羅した新しい価値プロジェクトを提案し、入札等で他社と差別化し邁進して行きたいと考えています。

月島機械株式会社 本田 修 様

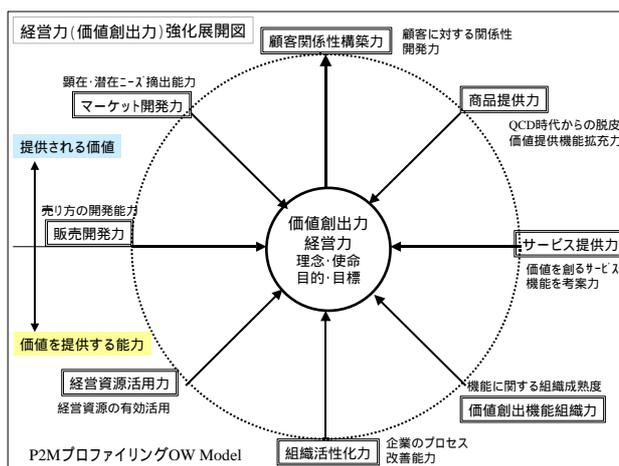
P2Mの活用とその事例

前回P2Mは価値創出のためのPMで、まさに経営力強化のためのPMという話をしました。経営力を可視化する試みとして経営力強化展開図を示しました。

今回はこの展開図を一つずつ解説していきます。展開図の真ん中の円を見てください。経営力＝価値創出力です。価値を発揮するためには企業理念・企業使命・目的・目標が必要です。

企業理念とは「事業の目的意識」と「事業遂行の価値観」と定義されます。卓越した企業の行動調査をした『収益結晶化理論』によれば、経営理念の5つの機能を通して事業の成長、社会貢献、利益の確保というプロセスが確立され、継続的に優れた業績を示すことが立証されている。短期的に利益を上げても、理念のない企業は長期的・継続的に卓越した企業として生き残れないことが証明されています。

企業の使命・目的・目標とは「どのような事業に従事しているか」、「その範囲は何か」、「事業の本質（コア）は何か」、「その事業をどの方向へ導くのか」を明確にしますが、その際8つの軸をどのように活用するかが焦点となります。展開図を俯瞰し、どの軸を活用して価値を創出するか考えます。



(芝安曇)

| | |
|--|--|
| <p>PMCC News Letter vol.12 2005年4月発行</p> | <p>編集・発行 / 特定非営利活動法人 プロジェクトマネジメント資格認定センター 〒105-0004 東京都港区新橋2丁目6番1号 さくら新橋ビル8階 TEL: 03-3539-3022(代表) FAX: 03-3539-1741</p> |
|--|--|